

7. 代表者による全体の評価と見直し記録

1. 全体の評価

報告者：環境管理責任者 末宗 睦郎

	評価事項	評価結果（指摘事項）	改善内容	期限	改善責任者
1	環境関連法規等の順守状況	特に問題はなく遵守できている。			
2	環境目標の達成度活動の進捗状況等の確認	電気使用量、水、オートガス、軽油の使用量が目標未達成だった。	目標未達成項目の是正処置を実施する。社員全員に取組み意識づけを行う。	平成28年4月末まで	環境管理責任者
		ガソリンは目標を大幅に超えて達成した。	引き続き社員への教育、意識づけを行う。	平成27年度定例会議毎	環境管理責任者
3	環境に関する苦情や要望対応状況	苦情・要望などは発生していない。			
4	前回の代表者の指示事項への対応	新工場・事務所増設のため、水・電気使用量をH26年度結果を基準として比較できた。	平成26年度のデータと基準として、引き続き使用量の削減に取り組む。	平成28年度定例会議毎	環境管理責任者
5	その他指示事項	特になし			

2. 全体の評価と見直し

実施日：平成28年4月1日

①全体の評価

代表取締役 古川 克己

本年度は、CO2排出量、ガソリン使用量について目標を達成した。特にガソリンに関しては、サービスカーのLPG車への移行を行ったことが結果に表れたと考える。電気、オートガス、軽油については、目標未達成であった。しかしながらこの3つのエネルギーに関しては目標達成率が95%以上と、業務内容や売り上げ推移から考えるとほぼ妥当な結果ではないかと思う。本年度から環境目標の基準を平成26年度の実績とし、比較が行いやすくなってよいが、例えば売り上げ金額の増減に応じて目標数値を決めるなどの方法を検討する必要かあると考える。次年度は本年の結果に甘んじることなく、業績のアップと同時に環境負荷を低減するべく、今までの削減の取り組みの継続と共に、旧工場の照明のLED化など、設備面の投資も行う予定にしている。

②見直し事項

	環境マネジメントシステムの見直し事項	見直し結果	改善内容	期限	改善責任者
1	環境方針、環境目標、環境活動の変更の必要性	軽油の集計方法と目標を見直す。	軽油の集計について、ディーゼルデュアルフューエル車の開発に使用する分は除いて行った。	平成27年度から実施済	環境管理責任者
2	環境経営システムの変更の必要性	現在の環境経営システムの取組みと意識付けの徹底が必要な為、変更の必要性なしと判断する。			
3	その他	特になし。			